

平成 2 6 年度

事 業 報 告 書

(自) 平成 2 6 年 4 月 1 日

(至) 平成 2 7 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

目 次

平成26年度事業概要	1
I. 法人運営部門	2
1 役員会開催状況	
2 評議員会開催状況	
3 監査状況	
4 苦情の受付及び解決状況	
II. 地域福祉活動推進部門	3
1 民生委員・児童委員活動支援事業	
2 地域福祉活動計画策定事業	
3 ボランティアセンター事業	
4 小地域ネットワーク活動	
5 福祉教育・啓発活動	
6 地域子育て支援センター事業	
7 各種福祉団体支援事業	
8 共同募金配分金事業	
III. 福祉サービス利用支援部門	26
1 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	
2 法人後見事業	
3 生活福祉資金貸付事業	
4 福祉資金（小口）貸付事業	
5 移送サービス事業	
6 放課後児童クラブ事業	
7 住民の福祉活動の推進・支援	
8 富士地区コミュニティバス実験運行事業	
9 三瀬地域巡回バス運営事業	
10 流水浴機器等管理運営事業	
11 老人福祉センター等運営事業	
12 松梅児童館運営事業	
13 佐賀市立母子生活支援施設「高木園」運営事業	
14 佐賀市産業振興会館管理事業	
15 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業	
16 佐賀市久保田総合センター管理事業	
IV. 在宅福祉サービス部門	35
1 居宅介護支援事業	
2 訪問介護事業	
3 通所介護事業	
4 ガイドヘルパー事業	
5 身体障がい者居宅介護支援事業	
V. その他の事業	37
1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力	
2 日本赤十字社事業の推進	

平成26年度事業概要

今、地域社会には、貧困、虐待、孤立死、自殺、DV（家庭内暴力）被害、ホームレス、ニートなど、既存の社会保障・社会福祉ではなかなか解決に至らない問題が顕在化しています。

また、家庭の様相も変化し、少子・高齢化の進行や働き方などの生活様式の変化に伴って、地域コミュニティの仕組みが脆弱化して、地域における生活課題の深刻化・複雑化に対応できなくなってきました。

しかし、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを使命とする社会福祉協議会は、こうした今日的な地域福祉の課題を受け止め、その解決に向けた取り組みを図ることが強く求められています。

平成26年度佐賀市社会福祉協議会では、地域福祉の推進を図ることを目的とする中核的団体としての特徴を発揮し、「第2期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念「みんなが参加、みんなで福祉、みんなの安心、笑顔が輝く佐賀のまち」の達成を目指して、新たな地域福祉の課題に向き合い、地域のあらゆる生活課題を受け止め、相談・支援や解決につなげ、誰もが安心して暮らすことができる地域に根ざした福祉のまちづくりに取り組むために、「地域での見守り懇談会の開催」「子育て家庭訪問ボランティア養成講座の開催」「法人後見事業の開始」に取り組みました。

※各項目の金額は事業支出額、〔P. 〕は資金収支決算書の該当するページを表しています。

※共同募金の配分金充当事業については【共募配分】、歳末たすけあい配分金充当事業については【歳末配分】と表記しています。

I. 法人運営部門

1 役員会開催状況 (210,000 円) [P. 4]

- (1) 第1回理事会 平成26年5月28日 (出席12名 欠席1名)
 - 第1号議案 平成26年度第1回資金収支補正予算について
 - 第2号議案 平成25年度事業報告並びに一般会計・特別会計資金収支決算について
 - 第3号議案 評議員の選任について
 - 第4号議案 苦情解決第三者委員の選任について
- (2) 第2回理事会 平成26年7月29日 (出席12名 欠席1名)
 - 第1号議案 副会長の選任について
 - 第2号議案 評議員の選任について
- (3) 第3回理事会 平成26年9月26日 (出席12名 欠席1名)
 - 第1号議案 平成26年度第2回資金収支補正予算について
- (4) 第4回理事会 平成26年12月24日 (出席12名 欠席1名)
 - 第1号議案 平成26年度第3回資金収支補正予算について
 - 第2号議案 会長及び副会長の報酬に関する規程の改正について
- (5) 第5回理事会 平成27年3月27日 (出席12名 欠席1名)
 - 第1号議案 平成26年度第4回資金収支補正予算について
 - 第2号議案 平成27年度事業計画並びに資金収支予算について
 - 第3号議案 事務局規程の改正について
 - 第4号議案 就業規則の廃止及び制定について
 - 第5号議案 給与規程の廃止及び制定について
 - 第6号議案 育児・介護休業等に関する規程の廃止及び制定について
 - 第7号議案 介護保険サービス事業規程の改正について
 - 第8号議案 経理規程の改正について

2 評議員会開催状況 (309,000 円) [P. 4]

- (1) 第1回評議員会 平成26年5月28日 (出席24名 欠席3名)
 - 第1号議案 平成26年度第1回資金収支補正予算について
 - 第2号議案 平成25年度事業報告並びに一般会計・特別会計資金収支決算について
 - 第3号議案 理事の選任について
- (2) 第2回評議員会 平成26年7月29日 (出席20名 欠席5名 欠員2名)
 - 第1号議案 理事の選任について
- (3) 第3回評議員会 平成26年9月26日 (出席21名 欠席6名)
 - 第1号議案 平成26年度第2回資金収支補正予算について
- (4) 第4回評議員会 平成26年12月24日 (出席25名 欠席2名)
 - 第1号議案 平成26年度第3回資金収支補正予算について
 - 第2号議案 会長及び副会長の報酬に関する規程の改正について
- (5) 第5回評議員会 平成27年3月27日 (出席22名 欠席5名)
 - 第1号議案 平成26年度第4回資金収支補正予算について
 - 第2号議案 平成27年度事業計画及び資金収支予算について
 - 第3号議案 理事の選任について
 - 第4号議案 事務局規程の改正について
 - 第5号議案 就業規則の廃止及び制定について
 - 第6号議案 給与規程の廃止及び制定について
 - 第7号議案 育児・介護休業等に関する規程の廃止及び制定について
 - 第8号議案 介護保険サービス事業規程の改正について
 - 第9号議案 経理規程の改正について

3 監査状況（36,000 円）〔P. 4〕

（1）平成 25 年度事業・会計監査

平成 26 年 5 月 12・13 日

（2）平成 26 年度中間監査

平成 26 年 12 月 9 日

4 苦情の受付及び解決状況（16,000 円）〔P. 4〕

苦情解決システム管理要綱に基づき、利用者等からの苦情について適切な解決を図った。

（単位：件）

区分	相談助言	紹介伝達	あっせん	通知	継続中	意見要望	計
高齢者	—	—	—	—	—	5	5
障がい者	—	—	—	—	—	—	—
児童	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	1	1
計	—	—	—	—	—	6	6

II. 地域福祉活動推進部門

1 民生委員・児童委員活動支援事業（488,716 円）〔P. 14〕

住民の立場に立って相談に応じるとともに援助を行い、広く住民の福祉にかかわり地域福祉活動の推進を行っている市内の民生委員児童委員の活動支援・協力を行った。

（1）地区民生委員児童委員協議会

所管事項についての伝達・依頼とともに業務遂行上必要な意見交換を行うため、市行政部局とともに市内 26 地区の同協議会へ出席した。（毎月 5 日～15 日）

（2）佐賀市民生委員児童委員連絡協議会会長会

市行政部局とともに主要関連事項の説明、又は意見交換を行うため出席した。
（毎月 25 日）

2 地域福祉活動計画策定事業（54,703 円）〔P. 8〕

「佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の第 2 期計画策定後の進捗状況について、佐賀市及び地域住民・福祉団体・ボランティア団体・学識経験者等からなる委員会に報告を行った。また、平成 28 年度以降の第 3 期計画の策定に向けて、市民アンケート調査を行い、その調査結果について分析・説明を行った。

3 ボランティアセンター事業（2,792,830 円）〔P. 9〕

ボランティア活動の基盤強化を重点に、ボランティア（個人・グループ）の育成援助及び地域のニーズ把握に努めるとともに、情報の提供及び各種講座・行事等を開催し、市民のボランティア意識高揚と、ボランティア活動への参加を促した。

（1）活動基盤整備事業

①ボランティアコーディネート機能の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるとともに、登録ボランティアの育成、支援並びにボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めた。

②ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンターの適切な運営を図るため、事業内容などについて検討した。

回	日 程	協議内容
第 1 回	6 月 11 日 13:30～15:00	・佐賀市ボランティア活動助成金について ・佐賀市ボランティア活動協力校補助金申請について ・ボランティアセンター運営委員会視察研修について ・春日北校区・災害ボランティアセンター設置訓練について

第2回	9月24日 12:30～17:00	・佐世保市社会福祉協議会ボランティアセンター視察研修→ <u>台風により中止</u>
第3回	12月22日 10:00～11:30	・福祉教育について ・福祉体験学習指導者派遣事業要領変更について ・コーディネート機能の強化
第4回	3月11日 13:30～15:00	・平成26年度ボランティアセンター事業報告について ・平成27年度ボランティアセンター事業計画について

③人材リストへの登録団体募集

「ボランティアを受けたい方」と「登録者（ボランティア）」を結びつける人材バンクとして活用するため、地域の団体をはじめ学校や企業へ紹介できるよう人材リストの登録を行った。

○登録団体 36団体

○個人登録者 13人

（2）啓発推進事業

①福祉体験学習指導者派遣事業（798,725円）〔P.9〕

地域・学校等で開催される福祉総合学習（車椅子介助・アイマスク体験・高齢者疑似体験等）が適切な指導により実施されるよう、経験・指導力を備えた指導者（クローバーの会）を派遣した。

種 別	延講座数 (回)	派遣団体数 (団体)	派遣先
アイマスク指導	114	21	【学校】 神野小学校、兵庫小学校、高木瀬小学校、 北川副小学校、鍋島小学校、新栄小学校、 開成小学校、諸富南小学校、川上小学校、 春日北小学校、春日小学校、 中川副小学校、西川副小学校、東与賀小 学校、思斎館小学部、成章中学校、城南 中学校、金泉中学校、致遠館中学校、思 斎館中学部、佐賀北高校 【企業・地域団体】 佐賀銀行、佐賀地方裁判所、NPO法人セ ルフ、佐賀市社協久保田支所
疑似体験指導	187	24	
車椅子指導	109	24	
講 話	4	2	
事前協議	45	22	
合 計	459		

（3）災害ボランティアセンター事業

発災時、市民から復旧・復興活動が求められた場合に備え、速やかに活動の拠点となる災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者へのボランティア支援を行えるよう体制づくりを図った。

①「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」の見直し

平成26年3月に佐賀市との間で、「佐賀市災害ボランティアセンター設置等のに関する協定書」を締結したことを受け、マニュアル名称や参考資料の変更を行った。

②災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練の開催

開催日・会場	内容	参加者
10月4日 佐賀市立春日北小学校・春日 北コミュニティセンター	【運営者体験】 災害ボランティアセンター運営訓練 【ボランティア体験】 ・土のう袋詰め体験 ・足湯体験 ・避難所体験 ・避難所設置運営体験	236人

③災害ボランティアセンター研修会への参加

災害ボランティアセンターを立ち上げる際、中心的な役割を担う職員を確保するため、最新の知識と情報を学ぶ機会とするため、研修会に職員が参加した。

開催日・会場	内容
11月25日～27日 タイム24ビル 【東京都】	平成26年度災害ボランティアセンター運営者研修 ・災害ボランティアセンター運営視点と役割を学び、ヒト・モノ・カネ の具体的な調整方法や情報発信の方法を学んだ。

1 月 23 日 佐賀県社会福祉会館 【佐賀市】	第 1 回災害時における社協間の支援体制に係る検討会議について ・災害時における社協間の相互支援を円滑に行うための協定の必要性について、県内の各市町社協職員が集まり検討を行った。
--------------------------------	--

④佐賀県防災士会との連携

平成 26 年 10 月 4 日の災害ボランティアセンター運営訓練では協働で取り組み、多くの参加者に体験の機会提供を行うことができた。

災害ボランティアセンターの立ち上げには、社協のみの人力では難しく、日頃から防災士会との連携を深めていくことが求められる。

(4) ボランティア活動の支援

①ボランティア活動保険の受付

登録団体のボランティアが安心して活動に取り組めるよう、ボランティア活動中の事故に備えてボランティア活動保険に関する情報提供を行うとともに、保険加入や事故受付事務を行った。

○加入受付 1 2 3 団体・1 1 名（個人ボランティアとしての加入者）

○事故申請 1 0 件

②ボランティア活動への助成 [P. 9]

福祉活動の振興を図るため、佐賀市を拠点に社会福祉事業を行っているボランティア団体等に対して、活動に要する経費の一部を助成した。

○ボランティア団体 4 4 団体 8 8 0, 0 0 0 円

○ボランティア連絡[推進]協議会 8 団体 4 0 0, 0 0 0 円

③学校ボランティア育成事業 [P. 9]

社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神を育むことを目的に、学校における取り組みに対して、助成を行った（市内小・中・高校が対象）。

○助成校 2 0 校（小学校：1 4 校、中学校：4 校、高校：1 校、特別支援学校：1 校）

○助成額 4 7 5, 4 9 3 円

(5) その他の支援の事業

①24時間テレビチャリティー募金活動等への支援

市内の福祉施設や団体、NPO法人等が行うチャリティー募金活動及び福祉車輛等の寄贈申し込みの取りまとめを行った。

○開催日 平成26年8月30日・31日

○場 所 イオンモール佐賀大和・イオンスーパーセンター佐賀

○参加者 2 0 団体

○内 容 市内の福祉施設や団体、NPO法人等が行うチャリティー募金活動及び福祉車輛等の寄贈申し込みの取りまとめを行い、各団体との協働により福祉の街づくりを推進した。

②佐賀市ボランティア連絡（推進）協議会・ボランティア団体等との連携

佐賀市ボランティア連絡（推進）協議会やボランティア団体が開催する事業・研修会・定例会等への協力・連携を行った。

4 小地域ネットワーク活動 (35,178,501 円)

(1) 災害時要援護者避難支援対策事業 (112,747 円) [P. 10]

佐賀市と協働し災害時に避難支援を要する高齢者等（災害時要援護者）に対し、迅速な安否確認、避難支援行動に取り組めるよう、地域支援団体（自治会、民生委員児童委員、校区社協など）の協力を得て、災害時要援護者の登録推進や訓練等を行った。

○佐賀市総合防災訓練 平成26年10月4日

○情報伝達訓練 平成26年10月4日

(2) 校区社協活動支援事業 (10,405,976 円) [P. 14]

「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識をもとに、小地域福祉活動を担う基礎組織として設置されている市内19校区の校区社会福祉協議会に対し支援と協力を行う。

①校区社会福祉協議会運営費助成（5,329,504円）〔P.14〕【共募配分（一部）】

各校区社会福祉協議会の運営・活動を支援するために、佐賀市と協調して助成を行った。

②校区社会福祉協議会会長会及び役員会

各校区社会福祉協議会間の連絡調整のため、会長会を4回（6月、9月、1月、3月）、役員会を6回（4月、6月、8月、10月、12月、3月）開催し、情報交換を図った。

③校区社会福祉協議会役員研修（935,472円）〔P.14〕

校区社会福祉協議会活動の充実と活性化を図るため、県内外の先進地の地区社会福祉協議会役員との交流研修等を実施し、事業の強化・促進を図るとともに、役員の「地域づくり」に対する意識を高めた。

- 開催日 平成26年11月11日（火）～12日（水）
- 研修地 糸島市社会福祉協議会・小倉南区社会福祉協議会
- 内 容 1）小地域福祉活動における関係団体との連携の在り方について
2）日常の見守りに取り組む中での関係団体の役割について

④年末・年始地域福祉交流事業（4,141,000円）〔P.22〕【歳末配分】

各校区社会福祉協議会が自らの福祉課題に応じて行う年末・年始の事業に対し、助成を行うことで、地域での特性を活かした住民同士の交流を深めることができた。

地区名	事業内容	助成額(円)
勸 興	ひとり暮らし高齢者への年賀状 勸興まちの駅ふれあい事業 ふれあい親子しめ縄づくり・餅つき大会 ほんげんぎょう・もぐらうち	160,000
循 誘	循誘ふれあいふるさと祭り もうすぐ正月祭	205,000
日 新	しめ縄づくりとぶた汁会 日新クリスマスライトファンタジー 独居高齢者へ年賀状発送 高齢者新年食事会	305,000
赤 松	ひとり暮らし高齢者のふれあいの集い 鯪の門まつり 餅つき・しめ縄づくり ひとり暮らし高齢者への年賀状 ご近所見守り事業	331,000
神 野	第6回カブトムシ大会 ひとり暮らし高齢者交流会 ひとり暮らし高齢者料理教室 神野校区ふれあいサロンスタッフ交流会 ひとり暮らし高齢者へのクリスマスプレゼント配布 高齢者男性料理教室	265,000
西与賀	西与賀小学校しめ縄づくり教室 ひとり暮らし高齢者ふれあいの集い	191,000
嘉 瀬	ふれあい異世代交流（どうようひろば） 異世代交流事業指導者講習会（しめ縄づくり） ふれあい異世代交流事業（しめ縄づくり・ふれあいもちつき）	156,000
巨 勢	巨勢校区社協グラウンドゴルフ大会 餅つき・しめ縄づくり・門松づくり 巨勢小学校昔遊び	140,000
兵 庫	友愛・兵庫の集い	183,000

高木瀬	しめ縄づくりと豚汁の会 三世代交流事業 高齢者へのクリスマスプレゼント（靴下・クッキー）	429,000
北川副	ふれあいの集い（2回開催/年） しめ縄づくり・友愛年賀状 もちつき大会 ふれあい冬祭り 高齢者スポーツ大会	285,000
本 庄	本庄町民ふれあい「しめ縄づくり・餅つき大会」 （独居高齢者配布）	241,000
鍋 島	第5回きらめきフェスタ 独居高齢者への年賀状作り 防災キャンプ「なべしまサマキャン2014」 中学生サンタがやってくる・パパと作ろうクリスマスケーキ 防災・減災のための救急救命講座 鍋島小学校PTA餅つき大会 鍋島町区駅伝大会・ふれあいロードレース	259,000
金 立	ふれあいの集い	123,000
久保泉	ほんげんぎょう 餅つき大会	71,000
蓮 池	蓮池こども冬まつり （しめ縄作り・石窯あそび・みんなで昼食会）	55,000
新 栄	新栄校区三世代交流グランドゴルフ大会 新栄校区年末福祉交流餅つき大会	235,000
若 楠	ふれあいの集い食事会（神野北） 餅つき大会（若宮） 世代間交流事業餅つき大会（八丁畷） 餅つき大会（高木団地） 餅つき大会（下高木団地） 餅つき大会（県営高木団地） 若楠ほんげんぎょう	282,000
開 成	三世代グランドゴルフ大会 独居老人宅年賀はがき・餅配布 どんど焼き	225,000
合 計		4,141,000

（３）見守り活動支援事業（640,000）〔P.14〕

地域ぐるみで支援が必要な人の見守りや話し相手になる中で、電球交換やゴミだし等、福祉サービスの隙間を埋める「地域の支え合い・たすけ合い活動」を校区社会福祉協議会が地域でのつなぎ役となり推進を図る中、取り組みの方向性を示すため先進校区の事例集を作成し、校区社協をはじめ、校区の自治会長や民生児童委員、ボランティア連絡協議会へ配布を行った。

（４）高齢者サロン事業（18,226,246円）〔P.11〕

地域住民の自主的な参加と協力のもと、家に閉じこもりがちな高齢者やひとり暮らしの高齢者等に、地域の施設（地区公民館、集会所等）を活用し、社会的孤立感の解消及び自立生活の向上を目的に実施されるサロンに対し運営費の助成を行い、併せてサロン設立や運営の指導等を行った。

◎サロン活動状況

地区名	サロン数	開催数	参加者数	助成額(円)
勸 興	4	55	906	310,000
循 誘	11	140	2,275	800,000
日 新	12	127	2,082	860,000
赤 松	1	10	110	70,000
神 野	12	127	3,134	960,000
西与賀	6	65	4,151	450,000
嘉 瀬	6	52	961	290,000
巨 勢	1	11	296	80,000
兵 庫	8	77	963	367,565
高木瀬	10	143	4,333	870,000
北川副	14	209	4,068	1,110,000
本 庄	8	95	1,978	575,000
鍋 島	3	28	616	175,000
金 立	10	160	2,586	715,000
久保泉	3	34	844	240,000
蓮 池	6	63	1,167	450,000
新 栄	6	541	10,943	510,000
若 楠	3	36	814	240,000
開 成	8	393	5,040	548,299
諸 富	17	280	7,601	1,470,000
大 和	21	371	6,090	1,535,000
富 士	8	109	2,104	620,000
三 瀬	6	74	1,077	420,000
川 副	19	218	3,562	1,279,722
東与賀	6	68	1,490	450,000
久保田	11	127	2,142	735,000
合 計	220	3,613	71,333	16,130,586

◎サロン遊具貸出状況

遊具名	保有数	貸出件数
スロットボール	3	6 6
ボーリングゲーム	5	2 6
輪投げ	1 5	4 0
室内ペタンク	4	2 4
ハンディカラオケ	1	4
バグダー	2	1 9
マグネットダーツ	5	3 5

◎高齢者ふれあいサロン実践者研修会

- 開催日 平成27年3月24日
- 講 師 佐賀県レクリエーション協会理事長 江口 英子
- テーマ 「サロンで取り組めるレクリエーション」
- 内 容 サロン活動でのマンネリ化を防ぐ一助となるよう、サロンで取り組める簡単なレクリエーション方法を学んだ。

◎高齢者ふれあいサロン事業説明会

- 開催日 平成27年3月24日
- 場 所 メートプラザ 多目的ホール
- 参加者 405人

(5) 在宅高齢者会食会等事業 (2, 129, 987 円)

地域の高齢者が公民館等に一堂に会し、食事等の提供を通じて、地域づくりの見守り活動に向けた「気づき」・「実践」の場となることを目的に地区社会福祉協議会等が行う会食会に対して助成を行った。

①在宅高齢者会食会等助成事業 (1, 725, 332 円) [P. 22] 【共募配分】【歳末配分】 **本所**

地区名	実施団体	開催数	参加者数	助成額(円)
勸 興	勸興校区社協	1	115	34, 500
循 誘	ボランティア循友	2	184	55, 200
	循誘地区民児協	1	128	38, 400
日 新	ボランティアにちりん	7	529	158, 700
嘉 瀬	せいらんボランティア	5	263	78, 900
巨 勢	ボランティア巨勢	6	320	96, 000
	巨勢地区民児協	1	54	16, 200
本 庄	本庄校区社協	1	162	48, 600
高木瀬	ボランティア高木瀬	1	96	28, 800
	高木瀬校区社協	1	173	51, 900
北川副	ボランティア北川副	12	801	240, 300
	北川副校区社協	3	691	207, 300
鍋 島	ボランティア鍋島	3	348	75, 700
金 立	金立校区社協	8	269	80, 700
久保泉	いずみボランティア	2	243	41, 600
蓮 池	蓮池校区社協	2	89	26, 700
新 栄	新栄ボランティア	4	711	163, 700
	新栄地区民児協	1	70	21, 000
若 楠	ボランティア若楠	2	278	83, 400
開 成	開成ボランティアひまわり	7	661	166, 600
合 計		70	6, 185	1, 714, 200

②高齢者ふれあい会食会助成事業 (371, 000 円) [P. 25] 【歳末配分】 **大和**

大和地区民生委員児童委員協議会が中心となり、自治会、食生活改善推進協議会、地域ボランティア、学校や育友会（PTA）などとの協働により開催される年末年始の交流事業に対し、助成を行うことで、地域での特性を活かした住民同士の交流を深めることができた。

○対象者 70歳以上のひとり暮らし高齢者

◎春日校区高齢者ふれあい会食会

○開催日 平成26年10月30日

○場 所 春日コミュニティセンター

○参加者 90名

◎春日北校区高齢者ふれあい会食会

○開催日 平成26年11月29日

○場 所 春日北コミュニティセンター

○参加者 71名

◎川上校区高齢者ふれあい会食会

○開催日 平成26年12月21日

○場 所 川上コミュニティセンター

○参加者 73名

◎松梅校区高齢者ふれあい会食会

○開催日 平成27年1月24日

○場 所 井手公民館

○参加者 28名

③一人暮らし高齢者見守り事業 (44, 787 円) [P. 26] 【共募配分（一部）】 **富士**

小地域を単位に関係機関の協力体制のもと会食会を開き、福祉への関心を高めると共に高齢者問題への認識を深め、一人暮らし高齢者を見守る体制の構築を図った。

(協力体制) 民生委員児童委員・食生活改善推進協議会富士支部・おたっしや本舗富士

○参加者 延59人

(6) 地域ふれあいまつり事業助成 (80,000 円) [P. 25] 【歳末配分】 **大和**

各小学校の育友会 (PTA) が中心となり、学校や自治会などとの協働により地域住民とのふれあいや親睦を深めるため実施される「地域ふれあいまつり」に対し、助成を行うことで、地域での交流を促進できた。

◎「春日っ子ワクワク祭り2014」春日小学校PTA

○開催日 平成26年11月9日

○場 所 春日小学校

◎「きたきた祭りの北っ子ショー」春日北小学校PTA

○開催日 平成26年11月15日

○場 所 春日北小学校

◎「土曜夢学級 川上校区ふれあい会食会」川上小学校PTA

○開催日 平成26年12月21日

○場 所 川上コミュニティセンター

◎「平成26年度親子ふれあい餅つき大会」松梅児童・小・中合同餅つき大会実行委員会

○開催日 平成26年11月30日

○場 所 小中一貫校松梅校小学部

(7) 見守りネットワーク事業 (1,540,384 円)

①見守り懇談会 (1,240,000 円) [P. 14] 《新規》

見守りが必要な高齢者が安心して暮らせるよう、ご近所見守り事業と合わせ地域にあった見守り体制を築くために10校(地)区で、懇談会を実施した。

実施校区	テーマ	懇談会の効果
①循誘	活動の拠点としてのサロン	・支えあうことの大切さを再認識し、サロンの新設に向け確認し合うことができた
②赤松	向こう三軒両隣のおしゃべりを目指して	・関係機関(民生委員、自治会、校区社協)の連携により、地域課題を共有することができ、今後の地域活動に見通しがついた。
③神野	サロンを資源としての地域づくり	・「ふれあいサロン」により、地域における支えあいの土壌が培われており、その意義や役割について共有することができた。
④北川副	企業との協働で地域福祉の発展	・活動拠点が無いという課題に対し、企業の社会貢献という新たな事業展開が生まれた。
⑤本庄	関心を持つための場面づくり	・関係団体との合意形成ができ、地域住民が関心を持ちあい、それぞれの団体が役割を持って活動していることが確認できた。
⑥金立	まちづくり協議会と見守り活動	・「高齢者の見守り」について、全世帯に知らせることができ、今後、関係団体と具体的な取り組みを検討する合意がとれた。
⑦久保泉	困ったときは、お互い様の関係で!	・「困ったときは、お互い様」の気運をより高めることができ、今後の活動のステップになった。
⑧新栄	校区における地域活動の一体化	・懇談会に向け、自治会、民生児童委員、校区社協とで、合意形成に向けた事前研修に取り組むなど、「支えあい」に向け、共通理解を持つことができた。
⑨諸富	地域に根ざした見守り活動を目指して	・地域に根ざした見守り活動を目指し、関係団体が協議の場を持つことができ、「高齢者支援ニーズ調査」を実施し、今後、分析、活動へと方向性を見出すことができた。
⑩川上 (大和支所)	かわかみ流! 勝手に見守りたい	・自治会、民生委員、おたっしや本舗、まちづくり協議会に加え、JAが加わり、幅広い体制づくりに発展させることができた。

見守り懇談会報告会

校区社協がつなぎ役となり、見守りを通して地域住民が一体となり、誰もが地域の中で安心して生活できるよう懇談会を実施した10校（地）区の多様な活動事例報告会を情報交換の場として提供した。

- 期 日 平成27年3月4日（水）
- 場 所 ほほえみ館 視聴覚室
- 出席者 95名
- 内 容 パネルディスカッション（パネラー9名・ファシリテーター）
テーマ1 「地域の実情に応じたネットワークの構築 ～今ある資源の活用～」
テーマ2 「懇談会を通して見えてきたネットワークの必要性」

②小地域見守り活動事業（300,384円）〔P.22〕【共募配分】

自分の地域で安心して暮らせるように高齢者への見守り及び声かけを行う「ご近所見守り事業」並びに「福祉協力員」「ちょこっとボランティア」等の活動のなかで、安心して活動が行われるようにボランティア活動保険に加入し支援した。

③緊急連絡カードの整備 富士

民生委員児童委員の協力を得て、緊急時に備え、ひとり暮らし高齢者世帯の実態を把握するとともに、対象者に緊急連絡カードの配布を行った。

詳細には緊急時に備え、親族や担当民生委員児童委員、自治会長、見守り協力員等の連絡先及びかかりつけ医等を記載し、本人及び関係機関で共有した。

- 対象者 153人

（8）高齢者生きがいがづくり促進事業（943,439円）

①地域高齢者生活支援事業（88,023円）〔P.24〕【共募配分】 諸富

高齢者の介護予防、健康に対する意識の向上を目的として、血圧測定や健康チェック、保健師による講話、軽運動等を実施した。

- 開催地区 23地区
- 参加者 延 526人（男性165名、女性361名）
- 事業内容 血圧測定、健康チェック、歯科衛生士による講話『口腔ケアについて』、レクリエーション

②高齢者支援講習会（22,260円）〔P.20〕 東与賀

脳トレーニングやレクリエーションの講習会を実施し、習得した知識や技術を地域でのサロン事業や会合時に活用していただいた。

- 参加者 延32人
- 内 容 脳トレーニング（手遊び・指遊び）、レクリエーション（歌遊び・お手玉遊び）、ロコモ体操等
- 実施回数 3回

③健康体操教室 東与賀

高齢者や壮年者の寝たきりや認知症予防等を目的に、「NPO法人ふれあい館」とタイアップし、自らの体力に合った運動の紹介、体操、健康指導、栄養指導、健康管理等を行った。

- 参加者 延106人
- 内 容 体力測定・健康チェック・ボール体操 他
- 実施回数 19回

④出てこん場事業（194,285円）〔P.17〕 富士

コミュニティバス利用者を対象に専門の関係機関及びボランティアとの連携により、介護予防や生きがいを支援した。

- （実施内容） 健康体操 [年14回]
- 地域交流（ボランティア団体／折り紙）[年8回]
- 健康講座（富士大和温泉病院）[年13回]
- 音楽講座（ハーモニカ演奏と唱歌）[年6回]
- 栄養講座（食生活改善推進協議会）[年8回]

人権講話（人権相談員）〔年6回〕

- 参加者 延656人
- 講師数 延102人
- 実施回数 55回

⑤銭太鼓養成 富士

銭太鼓養成を行ない、積極的に施設訪問や地域のイベントに参加するなど、生きがい健康づくりの推進を図った。

- 実施回数 21回 延657人

⑥ふれあいサークル事業 三瀬

心や体に障がいがある方を対象に、ものづくりや会話を通じて生活意欲をとり戻し、とじこもりの解消を図った。

- 実施回数 10回
- 場 所 三瀬保健センター
- 参加者 延56人

⑦地域探訪会（384,695円）〔P.16, 18, 20, 21〕 諸富 三瀬 東与賀 久保田

（諸富）ひとり暮らし高齢者を対象にバスハイクを実施。外出の機会の提供及び参加者・協力者の親睦を図った。

- 開催日 平成26年11月5日、6日、12日、13日（計4班）
- 内 容 石炭資料博物館、特産品センターなんかん『いきいき村』、会食
- 参加者 62名（高齢者 計40名、引率 計22名）

（三瀬）外出の機会が少ない高齢者に外出の機会を提供し、ボランティアの協力により参加者相互のふれあいととじこもり解消を図った。

- 実施回数 4回
- 内 容 多久市二千年ハス・多久市八幡神社・唐津市古代の森会館 他
- 参加者 延118名（高齢者106名・引率12名）

（東与賀）外出の機会が少ない高齢者に外出の機会を与え、相互の親睦を図るとともに、生きがいの充足、心身の健康や自立した生活への意欲の向上を図った。

- 開催日 平成26年10月3日・17日
- 内 容 祐徳稲荷神社見学 他
- 参加者 24名

（久保田）外出の機会が少ない高齢者に外出の機会を与え、相互の親睦を図るとともに、生きがいの充足、心身の健康や自立した生活への意欲の向上を図ることを目的に実施した。

- 開催日 平成26年11月20日、11月27日
- 内 容 秋月城址散策、三連水車の里あさくら
- 参加者 57名

⑧楽しい生け花教室（11,352円）〔P.18〕 三瀬

地域の方を講師に身近な野の花を利用した教室を実施することで、高齢者が気軽に集うことができる場を提供し、同世代とふれあうことでとじこもり防止を図った。

- 実施回数 8回
- 参加者 延67人

⑨ふれあい食事教室（146,609円）〔P.18〕 三瀬

高齢者が、地元産の食材を使った料理教室に参加することで、身近な食材のよさや調理法を学び、参加者同士の会話を通して閉じこもり防止や生活意欲の向上を図った。

- 実施回数 6回
- 参加者 延87名

⑩男専科事業（62,525円）〔P.18〕 三瀬

男性が元気で長生き出来るように地場食材の調理や加工（蕎麦打ち・わら細工）を学び、生活意欲の向上を図った。

- 実施回数 4回

○参加者 延 45名

⑪高齢者食生活支援事業（20,290円）〔P.29〕**東与賀**【共募配分】

高齢者が食事を楽しめるよう、食の改善を図るとともに生活の質・維持向上のために老人クラブと協働で料理教室を実施した。

○開催日 平成26年8月22日

○参加者 30名

⑫ひだまり布の会事業（13,400円）〔P.18〕**三瀬**

高齢女性の閉じこもり防止を目的に実施し、持寄り布を利用して物づくりを行い、生活意欲を向上させとじこもりの解消を図った。

○開催日 11回

○参加者 延72名

（9）世代間交流事業（497,548円）

①ふれあい会食会〔P.28, 29, 30〕【共募配分（一部）】**川副** **東与賀** **久保田**

（川副）ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の方々が、民生委員児童委員や高齢者関係機関の職員、ボランティアと会し、日々の生活等の不安や困り事を話す機会を設け、孤独感の解消や閉じこもりの予防を図るとともに、地域課題について話し合う場を持つことを目的に実施した。

（東与賀）外出の機会の少ない高齢者の孤独感の解消や閉じこもりの予防を図るとともに、関係機関の協力により、市保健師・栄養士による健康相談や栄養指導等を実施することで、健康で自立した生活の継続が図れるよう支援した。

（久保田）『ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯のふれあい会食会』外出の機会が少ない高齢者と園児、児童や育児サークル等との世代間の交流により、在宅高齢者の孤独感の解消、閉じこもり予防や地域コミュニティの向上を図った。

（単位：人）

地区名（開催日）	高齢者	園児・児童	協力者	合計
西川副校区（9/16）	11	—	20	31
中川副校区（11/20）	25	16	25	66
南川副校区（11/25）	6	—	12	18
大詫間校区（11/28）	8	—	16	24
東与賀（8/8）	26	15	31	72
久保田（1/28）	45	23	38	106

②地域ふれあい交流事業〔P.28, 30〕【共募配分】**川副** **久保田**

（川副）夏祭りやグラウンドゴルフ、田植え体験、ウォーキング&交流会等をとおして、高齢者や児童、障がい者や地域住民が、同じ目的・目標に向けてお互いに協力する場を提供し、地域の活力向上のために交流を図った。

（久保田）『世代間交流事業』高齢者と子どもが一緒に楽しめる身近なスポーツを通してふれあい、児童の健全育成と高齢者の健康な心身の養成を図ることで、明るい地域社会づくりを目指し実施した。

（単位：人）

地区名（開催日）	高齢者	障がい者	児童	協力者	住民
西川副地区（7/1）	25	—	46	28	—
南川副地区（9/7）	—	30	50	37	150
大詫間地区（10/30）	60	—	55	—	—
中川副地区（11/16）	138	—	35	—	—
久保田地区（8/19）	35	—	19	—	54
久保田地区（11/10）	45	—	26	10	81

（10）施設・地域交流事業（116,694円）

①施設の夏祭り支援 **富士** **東与賀**

（富士）高齢者や障がい者の施設の利用者と地域住民との交流を深めることを目的に、ボランティアや地域住民の協力のもと夏祭りを実施した。

開催日	場所	参加者（人）
7月26日	なごみ荘	約400

（東与賀）障がい者福祉施設の夏祭りへの参加・協力を行い、ボランティアを核に施設利用者と地域住民との交流を通して、施設利用者への理解を深めた。

開催日	場所	参加者（人）
7月31日	めぐみ園	約700

②障がい児・者との交流会（66,694円）〔P.22, 24〕**諸富**

障がい児及び保護者の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、障がい児をもつ親の会と一体となってイベントを開催することで障がい児と地域住民との交流を深めた。

障がい児サロン事業『会食交流（パンケーキ会）』【共募配分】

- 開催日 平成26年7月6日
- 参加者 25人（障がい児及び保護者、民生委員児童委員、ボランティア 他）
- 内 容 ボランティアによる余興、パンケーキ作り及び会食交流

障がい児サロン事業『クリスマス会』【歳末配分】

- 開催日 平成26年12月7日
- 参加者 52人（障がい児及び保護者、ボランティア他）
- 内 容 ボランティアによる余興、ケーキ作り、プレゼント配布

③障がい者施設交流事業（50,000円）〔P.22〕【歳末配分】**久保田**

小規模作業所利用者及び家族と民生委員児童委員や地域住民との親睦と融和を図り、施設と一体となってクリスマス交流会を開催することにより、障がい者への理解を深めるとともに、地域との連携を深めた。

- 開催日 平成26年12月18日
- 対象者 障がい者小規模作業所（久保田サンハウス）利用者・家族
思斉館小学部・中学部特別支援学級児童生徒、民生委員児童委員、
ボランティア、地域住民 等
- 参加者 80名
- 内 容 利用者による合奏・合唱、児童生徒による劇、クリスマスプレゼント抽選会

（11）歳末地域交流事業（890,135円）

①世代間交流しめ縄づくり（195,042円）〔P.22〕【歳末配分】**三瀬** **川副** **久保田**

地域の高齢者と児童が、しめ縄づくりをとおして交流を深めるとともに、日本の慣習や風習に込められた思い・願いを伝え残すことにより、薄れゆく地域コミュニティ（地域力）の向上を図った。併せて、出来上がった「しめ縄」をひとり暮らし高齢者に届けることで、高齢者との心の交流を育んだ。

【三瀬支所】

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民
- 参加数 28人（児童：17人、スタッフ・ボランティア：11人）

【川副支所】

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民

校区名	児童（人）	地域住民（人）	合計（人）	配布数（個）
南川副校区（11/28）	42	40	82	120
大詫間校区（12/4）	24	40	64	—
西川副校区（12/19）	95	50	145	53
合 計	161	130	291	173

【久保田支所】

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民
- 参加数 17人

②世代間交流餅つき会（556,213円）〔P.22〕【歳末配分】**諸富** **富士** **三瀬** **川副**

餅つきをとおして、高齢者や児童、地域住民が世代を越えた交流を深めるとともに、障がいをもつ方々と地域住民の交流を図り、地域コミュニティの向上を図った。

餅つき会及び一人暮らし高齢者への配布【諸富支所】

- 参加者 80名（ボランティア、民生委員児童委員、老人クラブ、小学生 等）

- 配布数 269件
- 餅つき交流訪問事業【富士支所】
- 参加者 71名（ボランティア、民生委員児童委員、チャレンジ塾生）
- 対象者 70歳以上のひとり暮らし高齢者
- 配布数 119件
- 世代間交流餅つき会及びひとり暮らし高齢者への配布【三瀬支所】
- 参加者 120名（小学生、保護者、老人クラブ、地域住民）
- 配布対象者 75歳以上のひとり暮らし高齢者
- 配布数 32件
- 世代間交流餅つき会【川副支所】
- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民

（単位：人）

校区名	児童(利用者)	地域住民	合計
西川副校区 (12/5)	281	70	351
中川副校区 (12/12)	108	87	195
大詫間校区 (12/12)	55	50	105
まごころ授産所 (12/26)	(30)	50	80
南川副校区 (1/15)	63	50	113
合 計	537	307	844

③高齢者世帯会食交流会（87,669円）〔P.22〕【歳末配分】東与賀

外出の機会が少ない高齢者が一堂に会し、ゲームや余興等の交流を図りながら、健康相談・栄養指導を実施することにより、高齢者の孤独感解消や自立生活の一助とすることを目的に実施した。

- 開催日 平成26年11月28日
- 対象者 70歳以上のひとり暮らし高齢者
75歳以上の高齢者のみ世帯
- 参加者 70名（高齢者39名；協力者31名）
- 内 容 会食交流・ビンゴゲーム・踊り披露他
- 支援者 民生委員児童委員・ボランティアの友・保健師・栄養士・おたっしや本舗

④年末年始訪問事業（51,211円）〔P.22〕【歳末配分】久保田

折紙講座受講者が作成した折紙を、会食会時にプレゼントとして渡すことにより、住民相互の交流を図る。また、絵手紙講座受講者の協力を得て、出来上がった作品を年賀状として送付し、高齢者と地域との交流を深めた。

折り紙

- 対象者 70歳以上の一人暮らし高齢者及び75才以上の高齢者のみの世帯
- 配布数 45人

絵手紙

- 対象者 80歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯
- 配布数 39人

5 福祉教育・啓発活動（5,952,256円）

（1）広報活動（4,530,776円）

①社協だより“愛・あい”の発行、ホームページの更新（4,530,776円）〔P.7, 22, 31〕

【共募配分（一部）】

社会福祉協議会の事業を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため、年4回（春・夏・秋・新春号）市内全世帯及び事業所に配布した。

また、パソコン点訳ボランティア「麦の会」の協力により、点訳版を作成し市内の視覚障がい者で希望する方に配布した。

さらに新しい情報を提供するため、定期的にホームページを更新した。

②諸富支所だよりの発行 諸富

諸富支所が行う事業並びに地域活動を紹介し、地域との一体化を図りつつ、社会福祉協議会活動の理解や地域活動の活性化を図るため諸富地区全世帯に回覧した。

また、町内の福祉施設、医療機関、行政、幼稚園・保育園、小・中学校等にも配布した。

(社協事業の紹介や講座等の案内、各種募金の使途明示、その他地域におけるふれあい活動の紹介等)

- 発行回数 12回(月1回)
- 配布方法 町内回覧
- 回覧部数 459部/回
- 福祉施設等への配布 19ヵ所(毎月配布)

(2) 第10回佐賀市社会福祉大会の開催 (615,045 円) [P.7]

市内の福祉関係者が一堂に会し、今後の福祉活動推進の意識を高めるとともに、永年社会福祉に功労のあった者を表彰し、その功績を讃え社会福祉事業の振興発展を目的に開催した。

- 開催日 平成27年2月18日
- 場 所 佐賀市文化会館 中ホール
- 来場者 約750名
- 被表彰者 27名
 - ・表彰状 社会福祉団体役職員：7名、民生委員児童委員：1名
ボランティア団体：5団体
 - ・感謝状 福祉事業等寄付者：9名・5団体
- 講演 「平穏死のすすめ」
特別養護老人ホーム 芦花ホーム 医師 石飛幸三

(3) 子ども育成事業 (305,821 円)

①ふれあいチャレンジ塾 (233,029 円) 【共募配分(一部)】 富士 三瀬

(富士)「年8回」(105,728 円) [P.26]

「人とふれあう喜び」「地域を知る喜び」「季節を体感する喜び」を子どもと地域の大人(ボランティア支援者)が工夫や挑戦をともに楽しみながら、世代間の交流を深めることを目的に実施した。

- 参加児童 延100人
- 支援団体 ボランティア連絡協議会、民生委員児童委員女性部、佐賀県レクリエーション協会 他
- 開催数 8回

(三瀬) (127,301 円) [P.27]

子ども達が世代を超えた地域の方々とのふれあいを通じて、ふるさとを愛し思いやりの心を持ち、何事にもチャレンジする心を育むことを目的に実施した。

- 参加児童 延128人(その他スタッフ・ボランティア：66人)
- 支援団体 絵手紙グループ、老人クラブ、民生委員児童委員、母子保健推進員、食生活改善推進協議会
- 開催数 8回

②一輪車育成 (72,792 円) [P.17] 富士

一輪車演技を通じて児童の健全育成及びチームプレーによる連帯感や社会性を養い、また、地域のイベントへの出演や施設訪問により「思いやりの心」を育て、児童のみならず、保護者に福祉施設の特性を知ってもらうために支援を行った。

- 参加児童 延609人
- 開催数 64回

(4) 技能ボランティア養成講座 (500,614 円) [P.20, 21]

- ・絵手紙ボランティア養成講座(年6回) 東与賀 久保田
 - 【東与賀支所】 参加者 延82名
 - 【久保田支所】 参加者 延107名 (受講生 21名)
- ・折り紙ボランティア養成講座(年4回) 東与賀 (年6回) 久保田
 - 【東与賀支所】 参加者 延79名
 - 【久保田支所】 参加者 延48名 (受講生 10名)

- ・レクリエーション指導者養成講座（年6回）**久保田**
 【久保田支所】 参加者 延132名（受講生 27名）
- ・男の工芸教室（年4回）**久保田**
 【久保田支所】 参加者 延27名（受講生 9名）
- ・布のおもちゃ作り人材育成【共募配分（一部）】**川副**
 - 開催日 平成27年3月6日・7日
 - 場 所 佐賀市立南川副公民館
 - 対象者 ①未就学児及びその保護者
 ②佐賀市内で活動する「布のおもちゃ」グループ会員 50名
 - 内 容 ①布のおもちゃ展示
 ②保護者による「リストバンド」作製
 ③エプロンシアター
 ④布のおもちゃで遊ぶ「プレイコーナー」
 ⑤「ホームスタート」紹介コーナー
- ・被介護者体験研修〔P.19〕**川副**
 - 開催日 平成27年3月15日
 - 場 所 南5区公民館
 - 参加者 地域住民 15名
 - 内 容 地域住民に実際に介護を受ける側として、講師や参加者同士による体位変換や移乗、車椅子移動等を体感。
- ・大人の福祉体験学習〔P.21〕**久保田**
 - 開催日 平成27年2月3日・12日
 - 対象者 地域住民
 - 参加者 延22名
 - 内 容 高齢者疑似体験、車いす体験、佐賀県在宅生活サポートセンター見学

（5）実習生の受け入れ

これからの社会福祉を担う学生に社会福祉専門職に求められる姿勢、態度、援助技術を身につける実地教育の場を提供し、社会福祉の増進に繋がるよう指導・育成を行った。

種 別	人数	実習期間	学校・事業所
社会福祉士	6校 15名	23日 (または10日)	久留米大学、九州保健福祉大学、西九州大学、長崎国際大学、九州医療専門学校、共生館国際福祉医療カレッジ、大原保育医療福祉専門学校
介護福祉士	2校 5名	10日間 (または5日間)	西九州大学、神埼清明高校
体験学習 (教員免許特例法)	8校 46名	5日	佐賀大学、佐賀女子短期大学、西九州大学、九州大学、京都教育大学、同志社大学、福岡女子短期大学、明星大学通信教育部
保育実習	1校 2名	10日	中村学園短期大学
老人センター見学実習	1校 25名	1日	佐賀県立総合看護学院

6 子育て支援事業 (9,338,361 円)

同年代の子どもを持つ親が親子でふれあうことのできる「ひろば型」の子育て支援センターを設置し、あわせて広場を支える地域住民の助けあい・支えあい活動の充実を図ることで、地域で子どもが健やかに育つよう支援する。

諸富支所を基幹型とし、佐賀市全域に出張ひろばを配置し事業推進を図る。

◎地域子育て支援センター事業 (8,281,839 円) [P.12] 【共募配分（一部）】

同年代の子どもを持つ親が親子でふれあうことのできる「ひろば型」の子育て支援センターを設置し、あわせて広場を支える地域住民の助けあい・支えあい活動の充実を図ることで、地域で子どもが健やかに育つよう支援した。

(1) 子育て親子への交流の場の提供と交流の促進

① つどいの場の提供

親子が気軽に自由に利用できる場として「つどいの広場」を開設した。

(単位：人)

つどいの広場	開館日数 開催日	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
ふれあい広場 (佐賀市産業振興会館内)	240 (火)～(土)10:00～16:00	4,775	3,542	167
ふれあいうーむ (富士支所庁舎内)	245 (月)～(金)10:00～16:00	1,126	768	117
まほろば広場 (大和老人福祉センター内)	147 (火)(水)(金)10:30～15:30	1,067	919	98
みつせスマイルキッズ広場 (三瀬保健センター内)	12 毎月概ね20日10:00～12:00	122	85	78
むつごろう広場 (保健福祉会館内)	27 第1・4・5(月)9:30～15:30	623	572	170
赤ちゃん広場 (保健福祉会館内)	24 第2・3(月)9:30～15:30	791	783	10
よかつこ広場 (東与賀福祉センター内)	19 第2・4(水)10:00～12:00	97	93	18

②子育てサロンの開催

子育てサークルによる「子育てサロン」を行うことにより、子育て親子の交流を図った。

(単位：人)

ひろば名	サロン名	実施回数 開催日	実施内容	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
ふれあい広場 (基幹)	赤ちゃん広場	12回 第1(火)	乳児対象の発育相談とわらべ唄	188	183	9
	かすたねっとサロン	16回 第4(金)	作物の育成・収穫、季節行事を取り入れたおもちゃづくりや遊び	386	303	119
	にこにこ広場	12回 第3(水)	アンパンマン体操、ふれあい遊び	238	191	33
	絵本の広場	11回 第3(金)	絵本の読み聞かせ	121	108	28
	布おもちゃで遊ぼう	12回 第1(水)	布遊具を使ったふれあい遊び	134	113	36
	身近な材料で遊ぼう	12回 第4(火)	紙コップやビニール袋等を使った工作遊び	117	95	32
	巣立ちの広場	1回 3月	巣立つ親子を祝う広場	31	25	3
まほろば広場 (大和)	まほろばひろば	39回 月2～4回 (火・水・金)	出張ひろば、いもほり、オカリナコンサート、りんご狩りおやつ作り、プレイルームハンドベルコンサートなど	363	308	42
	音と遊ぼう	12回 第1(水)	音楽リトミック	158	136	13
	赤ちゃん広場	12回 第4(水)	乳幼児の発育相談(保健師)わらべ唄	78	74	6
	おはなしの部屋	8回 不定期	絵本の読み聞かせ	48	39	13
	ベビーマッサージ	4回 6・10・12・3月	ベビーマッサージ(パパ編：1回)	58	63	1
	まほろばサロン	3回 5・2・3月	マジック&アートバルーン 熊丸みつ子先生サロン 音楽会	152	113	16

ふれあいるーむ (富士)	ふじっこサークル	1 2回 第1(水)	七夕会、温泉遊び、ipad 教室 ハロウィンづくり、クリスマス会 キャンドルづくり、おはなし会 アロマ、運動でリフレッシュ、 ベビーマッサージ等	1 3 1	9 1	3 8
	ぐんぐん金曜日	3 7回 (金)		4 5 0	3 2 4	3 8
	わらべうたサロン	1 2回 第3(火)		6 1	4 7	0
	のびのびタイム	1 2回 第2(火)		8 4	5 7	0
みつせスマイル キッズ広場 (三瀬)	みつせ スマイルキッズ	1 2回 概ね10日	バスハイク、布おもちゃづくり ミニ運動会、リンゴ狩り、七夕会、 クリスマス会、おやつ作り	1 2 2	8 5	7 8
よかっこ広場 (東与賀)	よかっこ広場	1 4回 第3(水)	ベビーマッサージ、幼児安全法講 習会、親子でリズムダンス	1 2 7	1 2 8	1 2
なかよし広場 (久保田)	なかよし広場	1 2回 第3(月)	リズムダンス、ミニ運動会、 乳幼児救急法、クリスマス会 布おもちゃ遊び、大型絵本	1 6 0	1 0 8	7
むつごろう広場 (ほほえみ館)		1 1回 第1(月)	布おもちゃで遊ぼう	2 6 3	2 4 1	5 9
		1 2回 第4(月)	童話の読み聞かせ	2 8 9	2 6 6	8 9

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施（各つどいの中で実施）

子育てについて不安を抱えている親の相談に応じるとともに、定期的に専門家による「乳幼児育児・発育相談」や子育てに役立つ講座を実施することにより、子育て不安の解消を図った。

①子育てに関する相談（単位：件）

	相談内容別					形態別			合計
	育児	就園	親の問題	家族関係	地域関係	来所相談	電話相談	その他	
基幹	170	6	6	28	17	89	3	135	227
富士	17					17			17
大和	33	0	0	0	0	33			33

②専門家による子育て相談（年6回）

○相談件数 135件

③子育て講座の開催（4回連続講座を2か所で実施）（単位：人）

講座名	1回目；大和	2回目；基幹	合計
乳幼児の成長	36	40	76
離乳食実習	40	34	74
乳幼児の救急法	34	35	69
親子ふれあい遊び	36	42	78
合計	146	151	297

④子育て講座「NPプログラム」の開催

人との関わりが苦手な人を対象に親同士の仲間づくりを促し、不安や戸惑いを感じている子育て中の親同士が悩みや関心のあることを話しながら「自分に合った子育ての仕方」を見つけるプログラムを実施した。

- 講座名 NP（Nobody's Perfectの略）“完璧な親なんていない”
- 開催日 平成26年10月10日～11月14日（6回）
- 場 所 ほほえみ館
- 参加者 8組（延 46人）
- 内 容 0歳から3歳の子どもを育てる母親を対象に、生活習慣、遊び、食事、しつけなど毎回テーマを決め、参加者同士で意見を出し合った。

⑤親支援講座「NPプログラム」フォローアップの開催開催

- 開催日 平成27年3月20日
- 場 所 ほほえみ館きらきら学習ルーム
- 参加者 8組
- 内 容 「NPプログラム」を終了された方を対象に、もう一度振り返りを行った。

(3) 家庭訪問型子育て支援『ホームスタート』事業の実施

子育てに不安を抱えながらも相談できずに悩みを抱え、閉じこもりがちな就学前の乳幼児のいる家庭を、要望に応じて一定の研修を終了したボランティアが訪問し、寄り添いながら「傾聴（話を聴く）」「協働（一緒に何かをする）」を通して、親が心の安定や自信を取り戻し、虐待など深刻な問題の発生を未然に防ぐとともに、地域へと踏み出すきっかけづくりを支援するために実施した。

①子育て家庭訪問ボランティア（ホームビジター）養成講座

- 開催日 平成26年5月20日～7月1日（8日間、15のカリキュラム）
- 場 所 ほほえみ館
- 平成26年度修了者 20名（一部、未受講がある場合は、次回受講予定）

◎(ホームビジター) 年代別

20代	30代	40代	50代	60～64歳	65歳以上	合計
1	2	1	5	9	5	23

◎(ホームビジター) 校区別

勸興	日新	神野	赤松	西与賀	兵庫	高木瀬	本庄	新栄	開成	諸富	春日北	川上	三瀬
2	2	3	1	2	1	1	1	1	1	4	2	1	1

◎利用状況 (H27.3.31 現在)

○年齢別

～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40歳～	合計
0	4	6	7	0	17

○申込ルート

民生委員	保健師	知人	ひろば	広報誌	合計
1	5	2	1	8	17

○子どもの数

1人	2人	3人	合計
8	7	2	17

○申し込んだ理由

多胎児家庭	転勤族	産後うつ	子どもが病気	親が高齢	身体不安
外国人家庭	2人子ども	育児不安	中途障がい者	母子家庭	親が現役

②連絡会の開催

ホームスタートの現状とボランティアの方のフォローアップのための連絡会を開催した。

日程	曜日	場所	内容	参加数
9月30日	火	ほほえみ館	ボランティア交流会	17
11月21日	金		ボランティア研修会 講師：子育て支援センター「にじいろ広場」 代表 村田広子	13
1月15日	木		ボランティア懇談会	15
3月17日	火		ボランティア研修会	15

③フリースペースの開催

「むつごろう広場」と「赤ちゃん広場」の一角に、少し疲れているお母さんのために、寄り添うフリースペースを開設した。

(4) 子育てサポーターや子育てサークル等の育成・支援

①子育てサポーターの育成

子育てのための知識や技能を学ぶ「子育て講座や研修」の実施により、子育てサポーターの育成を図るとともに、更なるサポーターの質の向上を図った。

	開催場所	回数(回)	内容	参加延人数(人)
研修会	基幹	1	傾聴について ホームスタート事業の活動事例紹介等	35
	視察研修	1	『武雄市子育て支援総合支援センター』 視察	21

②子育てサークル等の育成・支援

「ひろば」に関わるサークル同士の交流会等の開催や活動の場を提供することにより、子育てサークルの育成・支援を行った。

○子育てサークルの交流

センターのサークル交流事業として“出会いの広場”を開催

○支援サークル

支所	諸富	大和	富士	本所
支援サークル数	7	1	1	1

(5) 乳幼児一時預かり事業

①広場での一時預かり

子育て中の親が少しでもゆったりと豊かな気持ちで過ごすことができるよう、また急用時をサポートするため広場の開所時間内で乳幼児の一時預かりを行った。

○利用者 延 21名

②出張託児の実施（基幹型）

子育て中の親が子育て講習等や各種イベントに安心して参加できるよう、開催場所に出向いて託児を行った。

○依頼件数 延 28件

(6) 子育て支援に関する情報の提供

子育て情報紙を随時発行し、行事の案内・報告を行うとともに社協だより“愛・あい”やホームページ及び市報さがでも子育て支援に関する情報提供を行った。また、子育てサークルによる子育て情報紙「ハッピーママ」と「ふれあい広場だより」を月1回発行した。

①ホームページによる情報提供

子育てに関する最新情報を提供するため、定期的にホームページを更新した。

②子育て情報紙「ハッピーママ」・「ふれあい広場だより」の発行（月1回）

○主な配布先 市内子育て支援センター、図書館、児童センター、保健センター等

(7) 地域の子育て力を高める取組みの実施

地域の実情に応じ、地域の子育て力を高めることを目的とした取組みについて、積極的に実施するよう努めた。

①「出前交流広場」の開催

地域のボランティアとともに地区公民館等で「交流サロン」等を開催し、地域交流の場の支援を行った。

○実施回数 16回（西与賀地区：12回、新栄地区：3回）

○参加者 延 218名（乳幼児58名、保護者45名）

②地域世代間交流事業への参画

地域世代間交流事業（こどもフェスタ等）への参画を通して、親子と地域のつながりを深め、世代間交流の中で地域ぐるみの子育て支援を推進した。

【こどもフェスタ】

○開催日 平成26年6月14日

○内 容 ボランティア団体等による体験コーナー

(単位：人)

子ども	大人	小・中学生スタッフ	ボランティア他	合計
252	154	27	143	576

【出会いの広場】

○開催日 平成26年5月10日

○内 容 佐賀市社協子育て支援センター事業の紹介 (単位：人)

乳幼児	保護者	ボランティア等	関係機関	合計
76	54	42	42	214

【地域世代間交流行事の支援】

地区自治会館等で開催される世代間交流行事の支援を行い、地域ぐるみの子育て支援の促進を図った。

○実施回数 2回（徳富1区、東堀地区）

○参加者 延 59名（乳幼児・児童31名、保護者等28名）

③児童の居場所づくり

ふれあい広場において、夏休み等を利用しての小学生のボランティア体験の受入体制を整え、乳幼児や地域住民とのふれあいの場の提供を図った。

④父親同士の交流推進

父親同士のつながりを促進するため、父親参加型のサロン（土に親しむサロン）を開催した。

○実施回数 4回

○内容 芋苗植え、つる返し、収穫

○参加者 延 31名（子18名・大人13名）

◎地域子育て支援事業（1,056,522円）〔P.22～30〕【共募配分】

①大和まほろば広場・サロン（佐賀市大和老人福祉センター内）（583,800円）

②ふれあいるーむ（佐賀市富士支所庁舎内）（216,785円）

③よかつこ広場（佐賀市東与賀保健福祉センター内）（141,495円）

④なかよし広場（佐賀市久保田保健センター内）（21,623円）

⑤みつせスマイルキッズ広場（佐賀市三瀬保健福祉センター内）（77,699円）

⑥むつごろう広場（佐賀市保健福祉会館内）（15,120円）

7 各種福祉団体支援事業（2,232,972円）

（1）福祉団体等及び社会福祉事業施設助成事業（2,232,972円）〔P.14〕

佐賀市における福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とする福祉団体等の事業及び運営に要する経費に対して助成金を交付した。

○運営費助成（7団体）

佐賀市遺族連合会

佐賀市原爆被害者の会

佐賀市視覚障害者福祉協会

佐賀市肢体不自由児・者父母の会

佐賀市身体障害者福祉協会連合会

佐賀市母子寡婦福祉連合会

佐賀市老人クラブ連合会

○事業助成（2事業）

佐賀心理リハビリテーションキャンプ費（佐賀県若楠ふたばの会）

佐賀市自治会協議会研修費（佐賀市自治会協議会）

（2）福祉バスの利用〔P.4〕※本所法人運営事業で実施

特別団体会員として登録している市内の各種福祉関係団体等が、研修・ボランティア活動等を行う際、円滑な活動ができるよう、マイクロバスによる送迎を行った。

○登録団体 80団体

○利用件数 180件

8 共同募金配分金事業（17,002,388 円）

（1）共同募金配分金事業 [P. 22～30]

佐賀県共同募金会の配分委員会の議決に基づく佐賀市社会福祉協議会への配分金を基に、法人運営費の繰入金とともに共同募金配分事業として事業を行った。（下記の表の頁数は事業報告書の記載頁数です）

	事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)	頁数
全市	防犯灯の設置助成	3,017,000	3,017,000	29
	在宅高齢者会食会助成事業	1,725,322	548,837	9
本所	校区社会福祉協議会運営費助成	5,329,504	2,850,000	6
	社協だより“愛あい”の発行	4,530,776	421,500	15
	むつごろう文庫・広場	15,120	15,120	24
	小地域見守り活動事業	300,384	300,384	11
	地域子育て支援センター	8,281,839	981,000	18
諸富	地域高齢者生活支援事業	88,023	88,023	11
	障がい児との交流会	15,977	15,977	14
大和	まほろばひろば	548,399	535,599	24
	まほろばサロン	35,401	35,401	24
富士	一人暮らし高齢者見守り事業	44,787	32,987	9
	ふれあいチャレンジ塾	105,728	97,228	16
	子育て支援事業（ふれあいる一む）	216,785	216,785	24
三瀬	ふれあいチャレンジ塾	127,301	110,301	16
	みつせスマイルキッズ広場	77,699	71,699	24
川副	布のおもちゃ作り人材育成	180,489	180,489	17
	ふれあい会食会（世代間ふれあい交流事業）	135,000	135,000	13
	地域ふれあい交流事業	140,511	140,511	13
東与賀	高齢者食生活支援事業	20,290	14,290	13
	ふれあい会食会	81,160	75,960	13
	よかつこ広場	141,495	141,451	24
久保田	ふれあい会食会	83,049	69,549	13
	地域ふれあい交流事業	57,828	57,828	13
	なかよし広場	21,623	21,623	24
合 計			10,174,542	

（2）歳末たすけあい配分金事業 [P. 22]

前年度、運動期間中（12月1日から1ヶ月間）に集まった募金を共同募金会佐賀市支会に設置した配分委員会に諮り、住民ニーズに応じた事業を展開した。（下記の表の頁数は事業報告書の記載頁数です）

	事業名	事業額(円)	頁数
本所	年末・年始地域福祉交流事業（校区社協）	4,141,000	6
	在宅高齢者会食会助成事業	1,176,495	9
	事務費	68,499	—
諸富	障がい児との交流会	50,717	14
	世代間交流餅つき会	179,737	14
大和	地域ふれあいまつり事業助成	80,000	10
	高齢者ふれあい会食会助成事業	371,000	9
富士	餅つき交流訪問事業	122,000	15
三瀬	世代間交流しめ縄作り	9,300	14
	世代間交流餅つき会	31,700	15

川副	世代間交流しめ縄作り	108,110	14
	世代間交流餅つき会	222,776	15
東与賀	高齢者世帯会食交流会	87,669	15
久保田	障がい者施設交流事業	50,000	14
	世代間交流しめ縄作り	77,632	14
	年末年始訪問事業	51,211	15
合 計		6,827,846	

Ⅲ. 福祉サービス利用支援部門

1 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（6,633,716 円）〔P.31〕

「福祉サービス利用者の利益の保護」を図ることを目的に、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な人達が安心して自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を行い支援した。※相談や支援計画作成は無料。ただし、契約締結後の支援については利用料が必要。

（1）基幹的社協（佐賀市、多久市、小城市、神崎市及び吉野ヶ里町）の受託

生活支援専門員の配置

基幹的社協として生活支援専門員を配置し、佐賀市・多久市・小城市・神崎市及び吉野ヶ里町における相談や契約の手続き等を、各市町社協と連携し行った。

市町社協	新規契約者数	解約者数	契約者数
多久市	5	1	1 2
小城市	0	0	4
神崎市	0	3	5
吉野ヶ里町	1	1	3
合 計	6	5	2 4

（2）福祉サービス利用援助事業の実施（佐賀市分）

①福祉サービスの利用援助サービス

- 福祉サービスに関する情報提供、相談、助言
- 福祉サービスの利用手続援助（申込手続同行・代行、契約締結）
- 利用している福祉サービスに苦情・不満がある場合の苦情解決制度の利用手続支援

②日常的な金銭管理サービス

- 年金及び福祉手当の受領に必要な手続き
- 福祉サービス利用料の支払い代行
- 公共料金・家賃・医療費・日用品等の代金の支払い手続き代行
- 生活費の使い方についてのアドバイス
- 上記に必要な預貯金の出し入れ、解約などの手続き
- 施設や病院が行う金銭管理に対する見守り

③書類等の預かりサービス

- 定期預金の通帳や年金証書・印鑑など書類等の保管
- 銀行の貸金庫を利用したの保管（別途利用料（実費）が必要）

相談、契約・解約件数（平成 27 年 3 月末）

（単位：件）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談・問合せ	1, 0 2 0	2, 4 7 9	1, 5 0 5	7 1	5, 0 7 5
新規契約	1 5	8	5	0	2 8
解約	1 8	5	4	0	2 7

契約者数（平成 27 年 3 月末）

（単位：人）

支所名	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	延支援件数 (件／年)
本 所	4 4	2 1	2 6	3	9 4	1, 9 5 1
諸 富	3	0	1	0	4	5 3
大 和	6	8	0	0	1 4	1 6 0
富 士	1	0	0	0	1	1 5
三 瀬	0	2	0	0	2	2 4
川 副	6	4	4	1	1 5	2 6 5
東与賀	0	0	1	0	1	3 8
久保田	2	1	2	0	5	1 1 0
合 計	6 2	3 6	3 4	4	1 3 6	2, 6 1 6
H 2 5 度末	6 3	3 4	3 4	4	1 3 5	2, 5 0 4

2 法人後見事業（62,220 円）〔P. 32〕《新規》

成年後見制度に関する問い合わせや相談等も増えてきており、その都度応じている。佐賀家庭裁判所より、成年（法人）後見人としての受任依頼もあり、本格的に事業を開始した。

○問い合わせ・相談件数 1 1 2 件

○受任件数 3 件（後見 1 ・保佐 2）

3 生活福祉資金貸付事業（5,450,000 円）〔P. 42〕

金融機関や公的貸付制度からの借入れが困難な所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者の居る世帯に対し、必要な資金の貸付けと相談援助を行った。

○対象世帯

低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、失業中の世帯等

○資金種類（5 種類）

生活福祉資金（総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金）、臨時特例つなぎ資金

（単位：件）

	生活福祉資金	臨時特例つなぎ資金	合計
相談等件数	2 1 5	4	2 1 9
貸付件数	4	0	4

○生活福祉資金相談内容 総合 7 5，福祉 9 6，教育 2 9，不動産 1 5

4 福祉資金（小口）貸付事業（4,736,972 円）〔P. 43〕

低所得世帯の自立更生のため、他からの資金貸付が困難かつ緊急の場合に 3 万円を上限として貸し付けを行った。

件数（件）	金額（円）
相談・問い合わせ	2 7 2
貸付	1 6 7
償還	2 0 1

※貸付と償還の件数差は、1 件の貸付けに対し、最長 6 回までの償還回数となる場合があるため

5 移送サービス事業（439,130 円）〔P. 33〕

市内に居住し、単独では既存の交通機関の利用が困難な在宅の高齢者や身体障がい者（移動制限者）にボランティアの協力のもと、車椅子搬送仕様自動車を利用した移送サービスにより地域生活の継続支援を行った。

	利用登録者	運転ボランティア登録者	利用者数 (延)	内 訳 (複数利用あり)		
				医療機関	公共機関	社会参加
本所	19	8	243	238	38	53
大和支所	7	2	40	42		1
富士支所	8	8	44	44		
三瀬支所	2	4	1	1		
川副支所	2	2	2	2		
合計	38	24	330	327	38	54

6 放課後児童クラブ事業 (13,826,000 円) 大和 川副

地区内の小学校に通学し、保護者が労働等で昼間家庭にいない児童に対し、授業終了後及び長期休暇期間中に遊びと生活の場を提供し、児童を犯罪から守るとともに健全育成を図った。

(1) 松梅児童クラブ (2,917,000 円) [P. 34]

- 場 所 松梅児童館
- 対象者 小学1年生～6年生までの児童
- 利用日時 月曜日～金曜日 放課後～18:30, 土曜日 8:30～17:00
長期休暇(夏・冬・春休み) 月曜日～金曜日 8:30～18:30
土曜日 8:30～17:00
- 開館日数 290日
- 利用児童数 延3,334人(1日平均 11.5人)

(2) 南川副児童、西川副児童、中川副児童及び大詫間児童クラブ (10,909,000 円) [P. 35]

- 場 所 各小学校及び川副児童館
- 対象者 小学1年生～3年生までの児童
- 利用日時 月曜日～金曜日 放課後～18:30, 土曜日 8:00～18:30
長期休暇(夏・冬・春休み) 月曜日～土曜日 8:00～18:30

通常時(土曜を含む)

区分	南川副	西川副	中川副	大詫間	合計
開設日数(日)	232	244	244	利用者なし	
延人数(人)	3,261	4,735	2,448		10,444

長期休暇期間(3ヶ所にて実施)

区分	春季休業	夏季休業	冬季休業	学年末	合計
開設日数(日)	7	30	5	5	47
延人数(人)	167	1,520	188	198	2,073

7 住民の福祉活動の推進・支援 (4,012,300 円)

(1) 小災害罹災世帯に対する見舞 (220,000 円) [P. 14]

災害により罹災者が物的・精神的な援護が必要な状況において、自力更生の一時的な援助を図るため見舞金及び見舞品を支給した。

	災害件数	罹災世帯数	罹災人数	見舞金(円)
火災	10	10	34	220,000
水害	—	—	—	—
合計	10	10	34	220,000

(2) 児童遊園地整備助成金 (775,300 円) [P.14]

市内地区自治会が児童福祉対策として、児童遊園地の新設、増設及び補修を行った場合、市行政部局とともに助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
西与賀	1	58,700	諸 富	2	63,400
北川副	2	59,500	川 上	1	100,000
本 庄	4	89,000	西川副	1	19,400
鍋 島	1	44,300	中川副	1	45,100
金 立	1	53,700	東与賀	3	72,800
蓮 池	2	118,900	久保田	1	50,500
			合 計	20	775,300

(3) 防犯灯の設置助成 (3,017,000 円) [P.23] 【共募配分】

市内地区自治会が地域住民の安全と犯罪の防止、青少年の非行防止のため、自主的に防犯灯の設置・補修を行うために防犯灯設置数に応じ助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
勸 興	315	68,000	新 栄	498	107,000
循 誘	530	113,000	若 楠	531	114,000
日 新	654	140,000	開 成	654	140,000
赤 松	582	124,000	諸 富	739	158,000
神 野	534	114,000	春 日	465	100,000
西与賀	433	93,000	春日北	411	88,000
嘉 瀬	303	65,000	川 上	485	104,000
巨 勢	298	64,000	松 梅	131	28,000
兵 庫	629	134,000	富 士	734	157,000
高木瀬	763	163,000	三 瀬	196	42,000
北川副	786	168,000	南川副	24	6,000
本 庄	791	169,000	西川副	39	9,000
鍋 島	597	128,000	中川副	7	2,000
金 立	350	75,000	東与賀	564	121,000
久保泉	305	65,000	久保田	662	141,000
蓮 池	79	17,000	合 計	14,089	3,017,000

(4) 備品の貸し出し

突発的な需要や各種団体等が研修などを行う際、車椅子・研修機器等の備品を貸し出した。

また、高齢者や障がい者等が在宅生活の継続を支援するため、ベッド、エアマット、電動ベッド、電動四輪車等を貸し出し、住民福祉の向上に努めた。

(単位：台)

		本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	計
車椅子	保有数	20	6	17	5	2	7	6	9	72
	延利用数	320	0	43	3	1	26	28	9	430
液晶プロジェクター	保有数	1			1				1	3
	延利用数	19			12				1	32
スクリーン	保有数	1		1	1				1	4
	延利用数	8		3	8				0	19
マイク一式	保有数	1		1					1	3
	延利用数	4		2					0	6

(5) ごみカレンダー点字版の配布

パソコン点訳ボランティア「麦の会」の協力により、ごみカレンダーの点訳版を作成し、市内の視覚障がい者で希望する方（26名）に配布した。

(6) 暮らしのトラブル無料法律相談 富士

多重債務や自己破産等生活上に発生する様々な悩みやトラブルで困窮している者に対し、問題解決を図るため、ボランティアの協力により、市民からの相談に応じる体制を整えた。

- 実施回数 毎月第3火曜日 15:00～17:00
- 相談員 司法書士
- 相談件数 1件

(7) 県内高齢者フリー定期券（昭和自動車シルバーパス）販売 [P. 4] 富士 三瀬

社会福祉協議会で販売することにより、住民の利便性を図り、高齢者の外出支援及び社会参加の促進を図った。

- 対象者 70歳以上の高齢者（昭和20年3月31日以前に生まれた方）
- 販売数 225枚

8 富士地区コミュニティバス実験運行事業（765,965円）[P. 36]（富士地区高齢者憩いの家事業）

自ら外出手段を持たない高齢者等の交通弱者に対し、外出の機会を提供することにより、閉じこもりの防止及び社会参加の促進を図り、自立した生活環境づくりを平成26年9月まで支援した。

- 対象者 65歳以上の高齢者で、介助なしで行動ができる者
- 利用料金 100円／片道
- 運行日時 3回／週（火、水、木曜日）10:00～15:00
- 事業内容

- ・マイクロバスによる利用者の送迎
- ・地域間交流
- ・温泉入浴サービスの提供
- ・富士地区高齢者憩いの家事業

実施日数（日）	延利用者数（人）	1日平均（人）
70	1,021	14.6

富士町コミュニティバス運行事業（1,435,194円）[P. 37]（富士地区高齢者憩いの家事業）

平成26年10月より、市町村運営有償運送として佐賀市富士地区で運行するコミュニティバスについて、佐賀市からの委託を受け下記の業務を行った。

- 業務の内容 コミュニティバス運行に係るバスの運転業務
バスの保管及び整備・点検並びに修繕に係る整備管理業務
ワンコインシルバーパスに係る業務
コミュニティバスの運行管理に係る業務
- 対象者 佐賀市富士町に在住する住民及びその親族
- 利用料金 100円～300円／回
- 運行日時 4回／週（火、水、木、金曜日）・10:00～ ・15:00～

実施日数（日）	延利用者数（人）	1回平均（人）	パス券発行枚数（人）
93	1,618	10.7	94

●富士地区高齢者憩いの家事業

自ら外出手段を持たない高齢者等の交通弱者に対し、外出の機会を提供することにより、閉じこもりの防止及び社会参加の促進を図り、自立した生活環境づくりを支援した。

実施日数（日）	延利用者数（人）	1日平均（人）
93	993	10.7

9 三瀬地域巡回バス運営事業（2,659,782 円）〔P.38〕 三瀬

住民の交通手段としての送迎と児童の下校時の送りのため、マイクロバスを一日 5 便運行し、住民福祉サービスの利用促進を図るとともに、児童の安全確保に寄与した。

稼働日数（日）	延利用人数（人）	内訳	
		一般（人）	児童（人）
2 4 3	3, 6 1 3	2, 3 1 4	1, 2 9 9

佐賀市三瀬支所庁舎を基点に東部地区内を運行

10 流水浴機器等管理運営事業（1,812,000 円）〔P.39〕 三瀬

市民の健康増進と、生涯を健康で過ごせる体づくりや生活習慣病の予防を目的に、温泉水を利用した三種類（スイムライフ、アクアビューティー、アクアファイブ）の流水浴機器を利用し実施した。

- 受付時間 月曜日、水曜日、金曜日 10:00～15:00
火曜日、木曜日 13:00～16:00
- 利用者 延 2, 9 0 1 人

11 老人福祉センター等運営事業（71,275,681 円）

高齢者が地域で安心して、心豊かに楽しく過ごせる場所を提供するため、市内 5 箇所（平松、巨勢、金立、開成、大和）の老人福祉センター等を運営した。各センターでは高齢者大学、クラブ活動や季節の行事などを行い、生きがいの充足、積極的な「仲間づくり」を進めている、また健康相談を実施し、健康で明るい生活を営んでもらうための事業の推進に努めた。

（1）佐賀市平松老人福祉センター（18,739,808 円）〔P.44〕

①平松老人福祉センター事業

- 入浴日 月、水、木、金曜日 11:00～15:00
- クラブ活動 民謡、書道、囲碁、生花、カラオケ（2 つのクラブあり）民舞、将棋、水墨画、吟詠、謡曲、陶芸、俳句、三味線、自彊術（じきょうじゅつ）、麻雀、脳いき、絵手紙
- 年間行事 健康相談 第 1 木曜日 13:30～15:30
第 3 木曜日 11:00～13:00
囲碁大会 第 2 土曜日
将棋大会（奇数月） 第 4 土曜日
大広間の解放 毎月 月曜日の午後及び木曜日
文化祭 敬老月間における作品展示及び発表会（9 月）

○年間の利用者数 (単位：人)

年間利用者数	市内	市外	合計	1 日平均
男	2 5, 6 9 8	3 1 3	2 6, 0 1 1	
女	1 5, 5 6 6	3 7	1 5, 6 0 3	
合計	4 1, 2 6 4	3 5 0	4 1, 6 1 4	1 4 2

②佐賀市平松清風大学（開講日：火曜日 ただし 8 月は休み）

長寿社会の中で高齢者が積極的に学習に取り組み、生活をより充実させ、生きがいを求めて地域社会の活動に順応できる人材を育成するために開設した。

- 学生数 1 2 0 名（1 年生 5 9 名 2 年生 6 1 名）
- 入学式 平成 2 6 年 4 月 1 5 日
- 教育過程
- ・教科学習 一般教養、郷土史、健康、園芸
 - ・企画学習 グループ討議、各学年ふれあい授業、自主企画授業

1・2年生交流授業、同期生講師による講義（私に言わせて！）

- ・学生活動 「文集ひらまつ」及び「学校新聞せいふう」の発行、運動会、研修旅行（日帰り・一泊）
- 年間講義等数 1年生 37回、2年生 37回
- クラブ活動 グラウンドゴルフ、歩こう会、園芸、絵手紙、パソコン
- 卒業式 平成27年3月3日

（2）佐賀市巨勢老人福祉センター（14,291,937円）〔P.46〕

①巨勢老人福祉センター事業

- 入浴日 月、火、木、金曜日 11:00～15:00
- クラブ活動 大正琴、舞踊、書道、フラダンス、囲碁、生花、カラオケ、フォークダンス、吟詠、謡曲、童謡唱歌、写真、編物、水墨画、ハワイアン演奏
- 市事業協力 脳いきいき健康塾
- 年間行事 健康相談（保健師）
 - 第1火曜日 10:00～12:00
 - 第4金曜日 13:00～15:00
- 囲碁大会 第3水曜日

（単位：人）

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	12,703	405	13,108	
女	12,802	367	13,169	
合計	25,505	772	26,277	90.0

②巨勢シルバーカレッジ（開講日：第1・第3木曜日）

高齢者が福祉社会をより深く認識し、快適な暮らしを高める能力を身につけるとともに地域社会に貢献できるボランティアを志すために開設した。

- 学生数 54名（1年制）
- 入学式 平成26年4月17日
- 講義 一般教養、郷土史、健康づくり等 年20回
- 修了式 平成27年3月19日

（3）佐賀市金立いいいの家（11,826,394円）〔P.52〕

①金立いいいの家事業

- 入浴日 月、火、木、金曜日 11:00～15:00
- クラブ活動 民謡、生花、書道、大正琴（2クラブ）、フォークダンス、囲碁、歌謡曲、押花、グラウンドゴルフ、パッチワーク、園芸、気功、健康マージャン（2クラブ）、編物、脳いきいき健康塾
- 市事業協力 元気アップ教室（市委託事業）
- 年間行事 健康相談（保健師）
 - 第2火曜日 10:00～12:00
 - 13:30～15:30
- 囲碁大会 第2水曜日

（単位：人）

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	9,777	131	9,908	
女	10,912	288	11,200	
合計	20,689	419	21,108	73

②金立いこいの家文化講座（開講日：第3金曜日）

本格的な高齢化社会を迎え、健康で明るい人生を送るために、「未知との出会い」、「人とのふれあい」、「学ぶよろこび」を再発見することを目的に開設した。

- 学生数 45名（1年制）
○入学式 平成26年4月18日
○講義 一般教養、健康づくり、園芸、健康料理、郷土史等 年12回
○修了式 平成27年3月20日

(4) 佐賀市開成老人福祉センター (13, 019, 366 円) [P. 48]

①開成老人福祉センター事業

- | | | |
|--------|----------------|-------------------|
| ○入浴日 | 月～金曜日 | 11:30～15:00 |
| ○クラブ活動 | 囲碁、将棋、大正琴、カラオケ | |
| ○市事業協力 | 元気アップ事業 | |
| ○年間行事 | 健康相談（保健師） | 第1月曜日 13:30～15:30 |
| | 囲碁大会 | 第2月曜日 |
| | 大正琴 | 第1・第3水曜日 |

(单位：人)

年間利用者数	市内	市外	合計	1 日平均
男	9, 2 6 7	1	9, 2 6 8	
女	2, 9 1 7	3	2, 9 2 0	
合計	1 2, 1 8 4	4	1 2, 1 8 8	4 2

- 元気アップ事業で開成老人福祉センター集会室利用者数 3, 804人(スタッフ含む。)

(5) 佐賀市大和老人福祉センター (13,398,176 円) [P.50]

①大和老人福祉センター事業

- 入浴日 月～金曜日 11:00～15:00
○年間行事 健康相談（保健師） 第1水曜日 13:30～15:30

(単位：人)

年間利用者数	市内	市外	合計	1 日平均
男	5, 1 8 1	1 4 5	5, 3 2 6	
女	5, 3 3 2	3 1	5, 3 6 3	
合計	1 0, 5 1 3	1 7 6	1 0, 6 8 9	3 6. 6

②温泉バスの運行

既存の公共交通機関等での移動が困難な高齢者が、老人福祉センターを円滑に利用できるよう、地区内全域を巡回する温泉バスを運行し、高齢者の生きがいをづくりや健康増進を支援した。

- 運行日時 月～金曜日（迎え：１０：００～ 送り：１４：３０～）
○利用料 無料

③まほろば高齢者講座

温泉バス利用者に対し年2回、市内の歴史的な史跡や施設を案内し、理解を深めるとともに、社会的孤立感の解消、自立生活の助長を促した。

- 史跡・施設 【春コース】印鑰神社（尼寺地区）、築山古墳（国分地区）、国分寺、国分寺跡、（尼寺地区）
【秋コース】玉林寺（出羽地区）、甘南比神社（春日地区）、徐福館（金立町）
○参加者 延 8日間、延 48名

1 2 松梅児童館運営事業（14,612,848 円）〔P.54〕 **大和**

児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進し、情操を豊かにするとともに、集団的および個別指導を行い、父母の会、子ども会など地域活動の支援を図った。

開館日数 (日)	利用者（人）					
	館児	幼児	小学生	一般	総計	1 日平均
2 9 5	6, 1 9 0	1, 2 0 7	1, 0 6 4	1, 7 3 4	1 0, 1 9 5	3 4. 6

（1）就学前児童の集団利用（保育：1 歳児から 5 歳児）「児童数：3 0 名」

- 利用日 月曜日～土曜日 8：30～17：00
- 延長保育 月曜日～金曜日 18：30 まで
- 内 容 年齢に応じた保育カリキュラム
お遊戯、工作、自然散策、体育遊び、お茶教室、季節行事など

（2）父母の会活動支援

- 年間行事 歯科教室、苺摘み、歓迎遠足、事故防止講話、七夕会、美化活動、除草作業、バス遠足など

（3）地域住民との交流事業

小・中学生との冬祭り（餅つき大会）の開催、地域の老人クラブとの交流等を行い、地域の活性化に努めた。

（4）子育て相談

子育て中の保護者が養育上に悩み等を気軽に相談できるよう日頃からより良い人間関係、雰囲気づくりに努めた。

1 3 佐賀市立母子生活支援施設「高木園」運営事業（29,925,941 円）〔P.56〕

配偶者のいない女性やこれに準ずる要件にあたる女性及び監護すべき児童を受け入れて保護するとともに、一日も早く自立できるよう生活全般を指導・支援した。

- 職員数 5 名（所長 1 名、母子支援員 2 名、少年指導員兼事務員 1 名、調理員等 1 名）
- 定員 1 9 世帯
- 入所世帯数 1 5 世帯（3 8 名）※平成 2 7 年 3 月末現在
- 世帯主平均年齢 3 2. 1 歳
- 平均在所期間（世帯） 2 6. 7 ヶ月

（単位：世帯）

1 年未満	1 年以上	2 年以上	3 年以上	5 年以上	合計
3	5	2	4	1	1 5

- 年間行事 子どもの日会、七夕会、クリスマス会、節分、ひな祭り、進級お祝い会、避難訓練（月 1 回）、消防訓練（年 2 回）、母の会（月 1 回）、健康診断（年 2 回）、外庭掃除（月 1 回以上）、大掃除（夏季・年末）

1 4 佐賀市産業振興会館管理事業（1,362,930 円）〔P.40〕

地場産業の振興と、市民の福祉等の向上を図る産業振興会館の管理及び会議室等の貸し出しを行った。

大集会室		情報交流室		研修室		教養室		アトリウム		合計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
125	8,781	101	1,734	152	2,500	74	1,175	13	299	465	14,489

1 5 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業

センター管理、会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行った。

大広間		会議室		市民相談室・ビリヤード室		相談室	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
104	1,296	65	2,127	—	—	76	1,722
調理室		集団指導室		機能訓練室		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
15	455	122	3,708	58	2,468	440	11,776

1 6 佐賀市久保田総合センター管理事業（2,777,000 円）〔P.41〕

文化的サークル活動や健康づくり・生涯学習の拠点施設である老人福祉センター、農村環境改善センター、高齢者交流施設、保健センター（4 施設）の会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行うとともに、各施設の利用調整を行った。

老人福祉センター		農村環境改善センター		高齢者交流施設		保健センター		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
443	5,492	1,480	33,813	126	2,057	114	4,593	2,163	45,955

老人福祉センター附属施設

高齢者小規模作業所		高齢者ふれあいプラザ		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数
46	236	45	1,206	91	1,442

IV. 在宅福祉サービス部門

1 居宅介護支援事業（13,615,802 円）

介護保険法により介護認定を受けた方の心身の状況や、その置かれている環境等を把握し、関係機関と連携を図りながら、希望に応じて適切なサービスを多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるようケアプラン作成、要介護認定調査、介護保険サービスの調整等を行った。

（1）居宅介護支援佐賀事業所（6,928,644 円）〔P.58〕 本所

- 介護支援専門員体制 6 名（常勤兼務 4 名、非常勤専従 2 名）
- 要介護認定調査 45 件
- ケアプラン管理者数 (単位：人)

要介護度	人数
要介護（1～5）	51
要支援（1～2）	8

（2）居宅介護支援南部事業所（6,687,158 円）〔P.59〕 川副

- 介護支援専門員体制 2 名（常勤専従 2 名）
- 要介護認定調査 31 件
- ケアプラン管理者数 (単位：人)

介護度	人数
要介護（1～5）	59
要支援（1～2）	6

2 訪問介護事業（7,568,819 円）〔P.60〕 川副

介護保険法により介護認定を受けた方が、在宅において自立した日常生活を送れるように、「身体介護」

「家事援助」「両方の複合型」等のサービスを提供するため、ケアプランに基づいて訪問介護員（ホームヘルパー）を派遣した。

サービス提供件数 (単位：件)

介護度	サービス提供件数	月平均
要介護（１～５）	2, 2 3 6	1 8 6. 3
要支援（１～２）	7 6 9	6 4. 1

サービスの種類と件数 (単位：件)

種別	サービス提供件数	月平均
身体介護	1 7 7	1 4. 8
家事援助	1, 4 4 7	1 2 1. 0
複 合 型	6 1 2	5 1. 0

3 通所介護事業（55,329,944 円）

要支援及び要介護認定を受けた高齢者が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・食事・レクリエーション等のサービスを提供し、利用者の心身機能の維持・向上と社会的孤独感の解消及び利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

○利用料金 介護保険の適応相当分（個人負担：１割）、昼食費 4 0 0 円／回

○利用日 月～金曜日（年末年始を除く。）

9：3 0～1 6：0 0（５時間以上 7 時間未満）

（１）開成デイサービスセンター事業（29,446,323 円）〔P. 61〕 **開成**

○行事等 花見（チューリップ・ふじ・コスモス・梅・桜）、誕生会、敬老会、季節行事（節分・桃の節句等）

○交流会 ボランティア団体、開成小学校 他

実施日数（日）	延利用者数（人）	１日平均（人）
2 5 5	4, 9 4 2	1 9. 4

（２）デイサービスセンターさくら事業（25,883,621 円）〔P. 63〕 **大和**

○行事等 花見（桜・チューリップ・紅葉・芝桜など）、三社参り、運動会、誕生会、季節行事（節分・敬老会など）、レクリエーション、ショッピングなど

○交流会 音楽ボランティア、ボランティア団体 他

実施日数（日）	延利用者数（人）	１日平均（人）
2 5 4	4, 8 1 8	1 9. 0

4 ガイドヘルパー事業（179,103 円）〔P. 65〕 ※平成 2 6 年 8 月 3 1 日廃止

重度の視覚障がい者が、通院や社会参加のために外出を行う場合に、付き添い介助するガイドヘルパーを派遣した。

○登録ヘルパー 2 人

同行援護（障害者自立支援法による通院及び外出介助）

利用者数	派遣回数	派遣時間
6	6 8	1 2 6. 0

5 身体障がい者居宅介護支援事業（2,600 円）〔P. 66〕 **川副**

在宅で生活を営む身体障がい者手帳（重度）の取得者に対して、日常生活に必要なサービスを提供し、自立した生活の継続を支援した。

○対象世帯 2 世帯

○支援回数 延 1 1 8 回（月平均 9. 8 回）

V. その他の事業

1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力（佐賀県共同募金会佐賀市支会）

日本で唯一法律に基づいて行われる募金活動として、公的な福祉サービスでは支えられない分野の支援を行うため、佐賀県共同募金会佐賀市支会として募金活動を展開し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

（１）赤い羽根共同募金

「じぶんの町を良くするしくみ」をメインテーマに、１０月１日から１２月３１日までの３ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施した。
(単位：円)

本支所名 募金種別	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	県共募・中央 共募送金分	合計
戸別募金	11,314,362	1,036,000	1,942,150	420,700	145,250	1,449,850	824,600	717,500	0	17,850,412
街頭募金	116,643	0	39,487	0	29,578	0	0	0	0	185,708
法人募金	1,920,146	678,000	155,500	336,358	100,205	454,800	210,207	238,000	40,000	4,133,216
学校募金	81,328	11,872	0	16,265	5,905	44,177	0	0	75,098	234,645
職域（資材）	1,422,250	340,150	276,100	181,100	52,800	55,150	113,500	154,350	7,700	2,603,100
職域・その他	249,075	19,433	8,147	71,751	28,515	32	44,154	15,087	52,314	488,508
合 計	15,103,804	2,085,455	2,421,384	1,026,174	362,253	2,004,009	1,192,461	1,124,937	175,112	25,495,589

（２）歳末たすけあい募金

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、１２月１日から１２月３１日までの１ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(単位：円)

本支所名 募金種別	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	県共募・中央 共募送金分	合計
戸別募金	4,548,131	307,800	554,900	120,200	41,500	416,400	235,600	205,600	0	6,430,131
その他	146,272	15,000	17	53,000	4,642	3,370	912	34,807	0	258,020
合 計	4,694,403	322,800	554,917	173,200	46,142	419,770	236,512	240,407	0	6,688,151

（３）災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は佐賀県共同募金会を通じて被災地へ送金した。

- ◎広島県大雨災害 （８月～３月） 5, 3 5 3 円
- ◎京都府大雨災害 （８月～１２月） 2, 4 8 3 円
- ◎丹波市豪雨災害 （８月～１２月） 7 3 9 円

2 日本赤十字社事業の推進（日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区）

国際救護活動や災害救護活動等の人道的使命に基づき、国内外で事業を実施している日本赤十字社の佐賀市地区として、赤十字事業の普及と事業推進に必要な資金を確保するため社員の確保に努めた。
(単位：円)

	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	合計
社費・寄付金	12,696,913	1,412,100	2,793,600	601,000	207,500	2,111,000	1,170,500	1,024,000	22,016,613

(1) 各種講習会

佐賀県支部が開催する各種講習会の開催を積極的に推進するとともに、市内で行われる蘇生法などの講習に講師又は指導員の派遣調整を行った。

①「習って良かった！災害時に活かせる赤十字救急法講習会」

世界赤十字デー（5月8日）の全国統一キャンペーン事業として、広く赤十字活動を理解していただくことと、一般市民が行う一次救命処置の普及を目的に日赤佐賀県支部主催により講習会を開催した。

- 開催日 平成26年5月21日
- 場 所 メートプラザ佐賀
- 参加者 84人

②講習への講師（指導員）派遣

救急法：3ヶ所、幼児安全法：2ヶ所

(2) 防災・減災活動等への取り組みに対する助成

校区自治会及び自主防災組織等が、防災・減災意識の高揚を目的に実施する防災・減災活動及び研修会、講習会等に対して助成金を交付し、地域における日本赤十字社活動の普及と誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進を図った。

○助成金交付 1校区

(3) 災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は日本赤十字社佐賀県支部を通じて被災地へ送金した。

- ◎東日本大震災 (4月～3月) 263,904円 (3月31日現在)
- ◎広島県大雨災害 (8月～3月) 121,777円
- ◎徳島県台風災害 (8月～10月) 738円

(参考) 東日本大震災災害義援金取り扱い状況 (単位：円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	合計
共同募金会へ	2,690,743	7,327,468	175,902	135,536	-	10,329,649
日本赤十字社へ	3,963,156	21,031,191	780,958	149,805	263,904	26,189,014
合計	6,653,899	28,358,659	956,860	285,341	263,904	36,518,663

(4) 火事等の罹災世帯への援助（事業報告書 ページ (1) 小災害罹災世帯に対する見舞 参照）

市民で災害により罹災者が物的・精神的な援護を必要とする場合、見舞金や毛布、日用品等の物資を支給することで、自力更生の向上を図る。